士別市朝日町の沿革

安政４年（1857）
　松浦武四郎が天塩川上流探検（天塩日誌）朝日町ペンケヌカナンプの地に足跡を残す。

明治３８年（1905）
　士別村字士別御料地が貸下げになり、開拓が始まる。
「朝日町の開基」

大正2年（1913）
　上士別村が士別村から分村独立し、上士別村字奥士別となる。

昭和24年（1949）
　上士別村から分村独立し、朝日村となる。

昭和37年（1962）
　町制が施行され、朝日町となる。

平成17年（2005）
　市町村合併により、士別市朝日町となる。

朝日郷土資料室

資料室「知恵の蔵」展示基本

町民の、町民による、町民のための手作り資料室
（町民一人ひとりの顔が見える資料室）

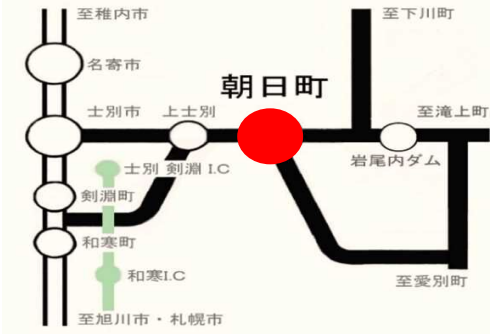
朝日町開拓百十余年の歴史資料の展示
（生産財資料、生活財資料の展示）

街づくりの一環に位置付けた資料室
（多目的活動の情報収集と発信地）

所在地　**〒095-0401**
士別市朝日町中央4038番地
士別市朝日活性化施設
まなべーる

【交通のご案内】

朝日町市街地図



～朝日町へのアクセス～
- ○ 札幌市より車で約4時間
- ○ 旭川市より車で約1時間30分
- ○ JR士別駅より車で約30分

【観覧のご案内】

開室時間　**午前10時～１２時**
午後１時～４時
開室日　**毎週　月曜日・火曜日**
（開室日が祝日と重なる場合は翌日開室）
入室料　**無料**

問い合わせ先
〒095-0401　士別市朝日町中央4040番地
朝日支所内 士別市教育委員会 地域文化課
TEL　0165-28-2121

天塩川源流地域の自然と文化

天塩岳(北見山地の最高峰 標高1557.6ｍ)に源を発する天塩川(全国第４位 全長256㎞）の広大な源流地域に開拓の鍬が下ろされて、百十余年、豊かな森林資源と豊穣の土地に恵まれた里山朝日、開拓者の苦労と努力の跡が、資料室「知恵の蔵」に収蔵・展示されている。

シマフクロウ

クマゲラ

キンセイラン

モイワラン

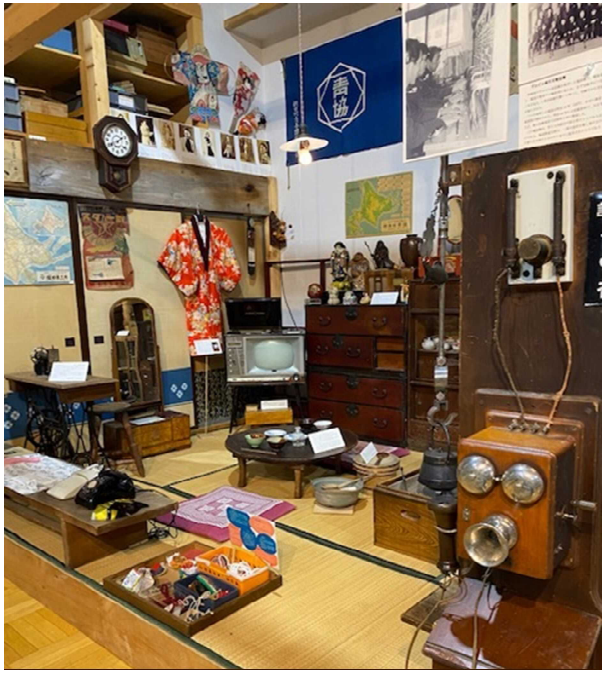
○ あさひの産業

除草機

木馬（キンマ）

朝日町で開発されたキンマは、H型をした前橇と後橇よりなる小型のバチ橇で、橇を連結させて多くの丸太を積載できる利点がある。

○ むかしの暮らし



昭和30年頃の
生活用具